

北区民の皆さまへ

近年、大型台風や集中豪雨による大規模な水害が日本全国で発生しています。北区内においても大河川である荒川が流れており、大規模水害と隣り合わせの状況にあります。水害による被害を最小限にするためには、自分自身の避難行動計画を事前に作成しておくこと、水害に対する備えを普段から行うことが重要です。

北区では、この度、大規模水害時の避難行動の基本方針として、避難の心得五か条を策定しました。自分自身やご家族の避難行動計画を考えるときにご活用ください。



「大規模水害時の避難行動の基本方針」 ～避難の心得五か条～

1. 自立して避難しましょう。
2. 災害を知りましょう。
3. 自宅にとどまらず、
できるだけ遠くの高台に逃げましょう。
4. 本当に必要な人のために、車避難は避けましょう。
5. 誰ひとり取り残されないようにするために、
周囲の人に手を差し伸べましょう、
差し伸べてもらえるようにしましょう。

北区からの宣言

北区は全庁をあげて支援を行います。

「大規模水害時の避難行動の基本方針」概略説明

基本方針 1

自立して避難しましょう。



- ①水害が起こりそうなときに自分自身がとるべき行動を整理した計画表を事前に作りましょう。計画表を作るときは、自分の家族や身近にいる頼れる人と一緒に考えることが大切です。
- ②自分の家族構成や家族の心身の状態、生活環境は自分がいちばんよく知っているはずです。自分や家族を安全に避難させるための、「自分自身の逃げ方」を考えましょう。また、ペットの避難についても考えておきましょう。
- ③いつ避難すべきかを判断するための情報を入手する手段を知りましょう。

基本方針 2

災害を知りましょう。



- ①想定できる最大の災害を考えて避難行動を計画しましょう。
- ②荒川が氾濫する可能性が高まるのはこういったときなのか知りましょう。
- ③台風が発生・接近してから荒川が氾濫してしまうまでの間にどのような被害が起きそうなのか、どの地域に逃げれば安全なのかを把握しましょう。

基本方針 3

自宅にとどまらず、
できるだけ遠くの高台に
逃げましょう。



- ① 浸水のおそれのある低地にいる場合は、自宅にとどまらず、できるだけ遠くの高台へと避難してください。親族宅や知人宅など、自分で避難先を探す必要があります。
- ② マンションなどの上階への避難は危険です。高台へと移動する時間的な余裕がないとき以外は垂直避難をしないようにしましょう。
- ③ 避難情報は、高齢者や要配慮者などの避難に時間がかかる区民を考慮して、早めに発令します。

基本方針 4

本当に必要な人のために、
車避難は避けましょう。



- ①水害による避難者の中には、徒歩での移動が困難で、自動車がないと避難できない人がいます。自動車が本当に必要な人のために、健康な方は、できるかぎり徒歩での避難をお願いします。
- ②多くの区民が一斉に自動車避難すると、狭い道路や橋で交通渋滞が起こり、逃げ切れない人が出てくる可能性があります。
- ③高台まで避難できたとしても、駐車できるスペースには限りがあります。自動車を使用して避難する場合は、避難準備情報の発令よりも前に移動を開始し、できるだけ区外に避難してください。

基本方針 5

誰ひとり取り残されないようにするために
周囲の人に手を差し伸べましょう、
差し伸べてもらえるようにしましょう。



- ①浸水が想定される地域に、誰ひとり取り残されないようにするための第一歩として、まずは自力や家族の手助けだけでは避難することが難しい人がいることを知しましょう。
- ②自力で避難することができる人は、自主的に広域へと避難しましょう。そのとき、周りに避難できずに困っている人がいないかを気遣い、可能な限り避難に協力しましょう。
また、自力での避難が困難な人は、いざというときに助け合えるように、日頃から隣近所とのコミュニケーションを取っておきましょう。

問い合わせ先 北区役所 防災・危機管理課

王子本町 1-15-22 北区役所第一庁舎 2階 13番

電話番号：03-3908-8194
